

平成28年度使用教科書の採択結果及び採択理由一覧

大阪教育大学附属天王寺中学校

平成28年7月14日現在

科目	発行者の略称	
国語	光村	光村図書を採択した理由として、各単元で学習目標を設定し、目標にあわせて「話すこと・聞くこと」「書くこと」および「読むこと」の内容が関連づけて学習できる点で複合的な学習を行いやすいという点がある。また、伝える力・表現する力を養い、言語感覚を豊かにするための具体的教材が豊富な点は、実生活に生きる力を目指す本校の教育に適すると感じた。その中で言語を活用する協動的なさまざまな活動事例が示されている点は特に魅力を感じた。
書写	東書	東京書籍を選んだ理由として、書写に対する心構えや目標が明確にせつめいされており、また、毛筆楷書の基本点画についてわかりやすく示され手本や解説と合わせることで美しく文字を書く学習が進めやすいという点がある。 また、中学校で初めて学習する行書は漢字の変遷とともに図解されており、学習の意義を同時に理解できる点も魅力的だと感じた。 他にも、「用紙や用具について」「生活の中の書」等の発展的資料により、書写に対する興味を様々な視点から深めることができると感じ、採択した。
地理	帝国	本校の社会科教育では、様々な社会事象に関して、諸資料に基づき多面的・多角的に考察・判断し、主体的に社会参画していく態度を育成することを目指している。地理的分野においては、各地域の特色をさまざまな地理的事象から多面的に考察し、地域に関する地理的認識を養うことに重きを置いている。採択した帝国書院の教科書は、各地域の地域的特色や背景の説明が詳細で、それを説明する写真や統計資料も豊富である。このように地域的特色の理解が深まるよう配慮されている点が、本校の社会科教育における目標を達成する上で秀でていると判断した。
歴史	東書	本校の社会科教育では、様々な社会事象に関して、諸資料に基づき多面的・多角的に考察・判断し、主体的に社会参画していく態度を育成することを目指している。歴史的分野においては、歴史事象の因果関係を明らかにし、時代の流れを大観させることに重きを置いている。採択した東京書籍の教科書は、時代の転換期に同時期の世界の様子が並列されている点や、各時代の特色に応じた資料・学習課題が豊富に掲載されている点が、本校の社会科教育における目標を達成する上で秀でていると判断した。
公民	帝国	本校の社会科教育では、様々な社会事象に関して、諸資料に基づき多面的・多角的に考察・判断し、主体的に社会参画していく態度を育成することを目指している。公民的分野においては、立体的な知識から公正な判断力を身に付け、自らの考えを社会に発信していく力の育成に重点を置いている。採択した帝国書院の教科書は、身近な題材から学習内容につなげる工夫が随所になされており、実社会で生きる学力を養う点で優れていると判断した。また、グローバルな視点から考える教材も多く取り入れられており、社会科の学習のまとめとして使いやすいと評価した。
地図	帝国	本校の社会科教育では、様々な社会事象に関して、諸資料に基づき多面的・多角的に考察・判断し、主体的に社会参画していく態度を育成することを目指している。地理的分野においては、各地域の特色をさまざまな地理的事象から多面的に考察し、地域に関する地理的認識を養うことに重きを置いている。採択した帝国書院の地図帳は、各地域の基本図に加え、主題図・資料図も豊富に掲載されているため、世界的な視野で日本をとらえやすい内容になっている。地理的事象を多面的・多角的に考察しやすい構成が、本校の社会科教育における目標を達成する上で秀でていると判断した。
数学	大日本	本校の数学教育においては、日常生活の様々な事象を数理的に考え、表現することを数学的活動を通して学ばせたいと考えている。採択した大日本図書では、随所に説明する活動や互いの考えを紹介しあう活動を取り入れており、問題解決の過程で他者とのコミュニケーションを学べるようになっていると考える。また章末、巻末において学習した内容と日常生活との関連が図られており、生徒が興味・関心をもって学んだ知識を活用しようとする工夫がなされていると判断し採択した。

理科	啓林館	本校の理科教育においては、実際の自然物や自然現象に直接的に関わることから、その定性的な特徴や定量的な規則性・法則性を見いだすことに重点を置き、科学的な思考力や態度を育成することを目指している。採択した啓林館の教科書は、観察実験の前段階で学習課題が常時明記されており、学習者自らが到達目標や学習の見通しを立てるのに秀でていと評価した。また本文の解説が「読むだけでわかる」記述となっており、思考と一体化した表現の指導を行う際に、生徒に参照させるなど、使いやすい内容であると判断した。
音楽	教芸	「音楽学習MAP」では、表現(歌唱・創作)領域と、鑑賞領域の関連性が分かりやすく表示されており、学習者自らが、それぞれの関わりを知ることができる。また、それぞれの単元で、目標が具体的に示され、学習者が常に到達目標を意識しながら活動することができる。これは、音楽に心をのせる自己表現力の育成を目指す本校の教育に相応しいと判断した。
器楽	教芸	様々な楽器の特徴や奏法が、絵や写真を多く用いて詳しく説明されており、段階的に習得し、表現に繋げることができる。アンサンブル教材も多く掲載されており、教材ごとに目標が具体的に示され、学習者が常に到達目標を意識しながら活動することができる。これは、音楽に心をのせる自己表現の育成を目指す本校の教育に相応しいと判断した。
美術	日文	日本文教出版を採択した理由として、生活の中で造形や美術と豊かに関わる力を養う図版が豊富であり、題材ごとに「学びのねらい」を示し、学習のねらいが明確に説明されることで題材理解が広がり、深められやすい点がある。また、校種間での連携を意識し、生徒の発達特性や連続性に配慮した点が、主体的に造形活動に取り組む力を目指す本校の教育に適すと感じ、採択した。
保健体育	大修館	「やってみよう」で、活用を通して、学んだことを自分の生活と関連付けて考えることができる内容が盛り込まれており、写真やイラストなどを「図」として、本文に関連付けて複数提示し、生徒が興味、関心を持って学習を進めることができるよう配慮もされている。また、大単元で「学習のまとめ」を設け、学んだ内容とともに、関連するページを記載し、学習の振り返りができるようになっているところが本校の保健体育科の目標にあっていたので採択をしました。
技術	開隆堂	現在、中学校の技術・家庭科の教科書は、開隆堂・東京書籍・教育図書の3社で作成されている。その中で開隆堂は、中学生にとって解りやすく、指導者への専門的知識のサポートも優れており、また資料も豊富である。以上の理由から、教育実習を実施している学校の教科書として適切であるため採用している。
家庭	開隆堂	本校の技術・家庭科(家庭分野)の家庭科教育では、教科の特性であり目標でもある「生活者としての主体性の形成」に重きを置いている。これは、キーコンピテンシーの育成を図ることも示唆している。そこで、本校では教科目標に鑑み、「開隆堂」の教科用図書を採択した。採択した教科用図書は、学習者が生活体験や授業における体験を通して、主体的に「思考・判断・表現」することを基盤としていると考えられる。このようなことから、生徒が日常生活に即した学習を実施することができ、さらには、家庭においても学んだ内容を生活者として活かすことができるものであるという観点から、「開隆堂」の教科用図書を採択した。
英語 (1年生)	開隆堂	本校の英語科では、特に1年生・2年生において音声教育(リスニング・スピーキング・発音やリズム等)に焦点を当てている。そのため、本文が会話を中心となって構成されているものが望ましいと判断した。また、扱われている題材が多岐にわたっており、言語のみならず、多様なものの見方や考え方、豊かな心情を育てるのに適している。さらに、新出文法を練習するためのダイアログや練習問題が充実していることに加え、見やすい絵や写真も多く掲載されており学習を促進するものと評価した。
英語 (2・3年生)	教出	2年生の中盤から音声を中心としながらも、リーディング力とライティング力の育成に重きを置いており、特に批判的思考力の育成を目指している。採択した教育出版の教科書は、様々な題材を扱ったリーディング教材が豊富であり、ディスカッションやディベート、スピーチにつなげやすい内容となっているため、学習した単語や文法を活用し、総合的な英語力を高めやすいと評価した。同時に、自文化理解や異文化理解を含む国際理解教育に関わる内容が含まれているため、視野を広げたり、心情を育成したりすることに適していると判断した。